

1 月定例記者会見 会見録 (概要)

1 月 11 日(木)13:00～

## 質疑応答

### ■空き家対策計画案

**記者** 空き家対策計画案のことで、空き家の問題で、市内で具体的に起こったことがあれば。

**空き家対策室** 大きな問題というのは、今のところありません。ただ、空き家が増えておりまして、草が伸びているとかそういうところでは。

### ■RPA<sup>(注1)</sup>の導入

**記者** 自治体の RPA 導入について、WinActor (ウィンアクター)<sup>(注2)</sup>というのは、既存の製品をつくば市に当てはめているのか。実際の導入企業があれば。

**市長** 既存のプログラムをつくば市の業務に合わせて具体的に取り入れる予定です。導入企業については、担当課から説明させます。

**情報政策課** 本日の事案書にも記載しておりますが、具体的な事例は、日経コンピュータ 9 月号に掲載されている、三菱東京 UFJ 銀行が 2014 年夏から先行して RPA のパイロット適用を進めておりまして、2 年ほどの間で行内の約 20 種類業務に RPA を適用し、年間で 1 万時間の作業削減成果を得ています。また、9 月にプレスリリースで第一生命保険会社が全社業務への導入を開始するとしております。また、電通で会計事務の月次処理などで月 5,000 時間を削減した事例が出ております。

**記者** つくば市としては、どの位の作業を対象として RPA を導入できると考えているのか。

**情報政策課** 市役所には申請書等でシステムに入力して、他のシステムと連携することで典型的な膨大な量の提携業務がたくさんあります。まずは、税の業務が繁忙期を迎えますので、税の業務についてターゲットにして研究を行い、その結果を踏まえ、展開していければというように考えております。

**毛塚副市長** 一点目の質問で、WinActor の活動実績ということだったと思いますが、そうであれば NTT データで答えていただいた方が適切かと思えます。

**情報政策課** 私が申し上げているのは一般的な RPA です。WinActor については NTT データからお願いします。

**NTT データ** WinActor の導入実績は、現在 300 社ほどに導入させていただいております。個別の事例につきましては、ご紹介させていただいている所がありますので、別途ご案内させていただきます。

**記者** RPA の共同事業を始めるということで、単純な事務作業の削減につながるかと思うが、その浮いた分をどういうことに差し替えていこうと考えているのか。また、目

標はあるのか。

**市長** 決して、人減らしのためにやっていることではありません。職員は膨大な量の業務に追われている分、場合によってはゆっくりと窓口で市民の皆さんにご説明できていない部分がございますので、導入することによって、市民の皆さんに対してサービスを丁寧に提供する時間を増やせると思っておりますし、あるいは、より創造的な新しい仕事を考えよう、何が今、市民に必要なのか考える時間が十分に持てない状況です。例えば、市民窓口などにおいては、「何が忙しくて何を改善したらいいかも打ち合わせの時間すら取れない」と職員から言われていまして、そういうことであっては本当に問題だと、そういうことからミスも出てくるし、職員も問題を改善するためにロボットでできることはロボットにやってもらうという期待をしています。

**記者** まだ RPA の導入の自治体は少ないかと思うが、つくばの取り組みが今後、全国にどのように展開していったらいいか。

**市長** 1～2自治体、外部委託でやっている所はあるようです。今回のように公募で職員が一体となって考えるという意味では、日本で初めての事例ですので、現場のことを知る職員と企業の皆さんと一緒に考えることによって、より横展開しやすいような継承の仕方が可能なのではないかと考えております。もちろん、効果測定もしますので、今回取り組む業務について何時間くらい減らせるかといったことも検証しながら、企業の方にコンサルされてやるだけではなく、本当の意味で自治体が必要としている形のパッケージができれば、全国の自治体の働き方を根本から変えるくらいのインパクトがあるものだと思っておりますし、つくば市は当然、科学技術都市ですが、そういったものを引っ張っていく、まずは日本一ロボットが活躍する自治体になりたいと思っておりますし、そうなるための第一歩だと思っております。その期待値は非常に高く持っています。

(注1) RPA とは、ロボティック・プロセス・オートメーションのこと。人間がコンピューターで作業している定型業務を、コンピューターにインストールしたソフトウェアが業務の手順を記憶して、人間の作業を代行する仕組みのこと。

(注2) WinActor は RPA の製品名

## ■クレオ跡地

**記者** つくば駅前のイオンが今月 31 日で閉店ということだが、そのことに関しての市長の所見と今の検討状況は。

**市長** 予想されていたこととは言え、残念なことであります。残念だといっているも仕方ありませんので、現在、行政内部で集中してクレオ跡地についての取り組みをあらゆる角度から検討をしているところです。議会で申し上げたのは、全て買う、部分

的に買う、全て借りる、部分的に借りるということを申し上げましたが、現在、全オプションについてどういう形のものかそれぞれのメリット・デメリットはどうなっているのか、ということを検討しています。当然、筑波都市整備とは、様々な協議や意見交換をしながら、私と副市長とで現地の視察にも行きましたし、市政の最優先事項として一番上のレベルに挙げています。

**記者** いつぐらいまでに検討等を考えているのか。

**市長** 筑波都市整備として早急にという意向があるので、そのスケジュール感はあります。やはり空白期間が一定程度できてしまうと仕方ないですが、方向性を見いだすという意味では、いつと区切ることは、今はしませんが、とにかくできるだけ早く打ち出して行く必要があると思っています。ただ、市が関わる部分に関しては当然、税金を伴ってくるものですし、議会の議決全会一致をいただいたとは言え、丁寧に進める必要があると思います。雑に勢いでやってしまうと、総合運動公園と同じ話になってしまうので、そういう過ちは繰り返さないというようにしなければならないと考えています。

**記者** 跡地に市の公共施設を入居させる方向の考えか。

**市長** はい。

#### ■世界湖沼会議

**記者** 今年、つくば市で世界湖沼会議が開かれるが、つくば市で現在盛り上げて準備しているものがあれば。

**市長** 非常に大きい国際会議でして、私どもも関心を持っています。

**生活環境部** 国際会議は県が仕切っています。お客様を迎え入れるという観点で準備・市民へ広く周知する PR を県と連携してやっていきます。

#### ■国保事業費納付金

**記者** 市として仮算定の件をどのように考えているのか。

**市長** 議会の皆さんと考えは全く一緒です。詳細について算定方法が分からないまま、大幅な金額増というのは、とてもそのまま受け入れられない内容ですので、県に対して議会からも行きますが、市としても県に対して要望活動を行っていきます。

**記者** いつ頃行く予定か。内容は基本的に議会の決議と同じか。

**市長** 大きくは一緒です。1月15日に行く予定です。

**記者** 市長が行くのか。

**市長** 今、誰が行くかを検討中です。

**記者** 市長から見て、この制度の問題点をどのように捉えているのか。

**市長** 一つは、算定方法を明確にしていないという点。二つ目は、つくば市の負担が飛び抜けて大きくなっている点です。このままでは、繰り入れを大幅に増やすか市民に大幅な

負担を求めなければいけないという状況です。一般会計の繰り入れを増やすということは、今回の理念とは真逆ですし、市民に急な変更によって負担を求めることも当然できません。